

あいあいあい



田口農場 (秋田県仙北市田沢湖)
餌にエコフィードを使用



米沢郷牧場
(山形県東置賜郡高畑町)
餌に飼料米を使用
国産飼料 99%の
『こめっこ鶏』も飼育



日向養豚 (宮城県大崎市田尻)
餌に飼料米を使用

耕畜連携と産直運動で

TPPの荒波を乗り切ろう！

商品部課長 大滝満雄

あいコープの産直生産者同士で地域循環の取組みが強い絆で行われています。『じもとん』の生産者「日向養豚」では、年間80tもの完熟たい肥を大郷みどり会などの農産物を生産者に提供しています。その完熟たい肥で栽培した飼料米は、豚やこめたまごの親鶏の餌になります。その量は年間20tにものぼり、年々増加しています。

あいコープの農産・畜産はたがいに結びつき輸入飼料になるべく頼らない、地域で資源を循環させ生産者の自立や本当に安心し食べられる食づくりを実践しています。

TPPが大筋合意されたと報道され「消費者メリット」が喧伝されています。しかし

コメの輸入枠を大きく広げることは安価な輸入米の流通増加で米価格が暴落し生産者の意欲が減退し、或いは体力のある生産法人のみが生き残り地域に根付いた生産活動が縮小していく危険があります。関税による規制が緩和され、輸入食品が他国の法規制に基

づいて入ってくれば添加物・GM食品・残留農薬・トレーサビリテイ：多国籍企業の進出とともに、これらの足元がぐらついていけば食の安全が疑わしくなりかねません。輸入食糧への依存はやがて価格高騰のリスク増大につながります。結局「消費者メリット」とは名ばかりではないのでしょうか？

今ほど、耕畜連携とそれを支える産直運動が私たちの食生活を守る武器と言える時はありません。組合員の皆さんが、輸入食品に翻弄されず、地域に根差した本場の価値ある商品を選ぶことで、地域循環型の農畜産業が持続可能となります。

あいコープの産直運動では、生産者や生産履歴が明らかであり、組合員と生産者の顔が見える関係を築いてきました。あいコープの耕畜連携のあり方をしっかりと理解し、商品を選び、私たちの産直生産者と共に揺るがない地域社会を築いていきましょう。

マルトさんの練り物で 心もお腹もポツカポカ

10月13日 三地区で高橋徳治商店工場見学



10月13日、青葉A・若林・仙南の三地区委員会で東松島市にある高橋徳治商店の工場見学に行ってきました。

あいこープみやぎから寄贈した風力発電風車の前で震災当時のお話を伺いました。石巻工場には10mもの津波が来



て、その後も高潮の度にマンションホールからヘドロがあがり、何度も練り返し工場の中から人力でヘドロを掻き出したとの事。大変なご苦労であったと思います。そしてその事を忘れないようにと、その時使ったシャベルや手押し車がモニュメントとして保存されています。

最初にその日に市場で仕入れた金頭（カナガシラ）とグチを見せて頂きました。震災後何度も放射能検査を重ね安全だと確認して石巻産原料を使用しているとのこと。また国産のグチをメインに沖繩産の塩など、原材料一つひとつをこだわって選び抜いているとの事でした。

3Dフリーザーによって瞬間的に冷凍し、鮮度と美味しさを閉じ込めるそうです。次に向かったのは練りの作業現場。添加物を加えればすぐにできる作業も職人さんの技でその日その日で練りの時間を決めているそうです。

次に蒸しの作業を見学。おでんセットに入るサンマのつみれの作業をされていました。出来たてホヤホヤを頂きとても美味しかったです。

最後に美味しいおでんを頂きながら、高橋社長から添加物のお話を伺いました。社長の物



作りへのこだわりは、私たち組合員を家族と思って本当に食べさせたい物を作って下さっているのだと感じました。私たちが工場を後にする時も、見えなくなるまで見送って下さった社長。お腹も心も暖かい気持ちになりました。本当にありがとうございました。

仙南地区委員 小山智子



☆添加物は内臓に負担をかけ、カルシウムを体外に排出するものや発がん性のものも。化学調味料は脳や神経に影響を与える場合も。体や味覚が発達途中の子どもは避けるべき。

☆無添加だから素材本来の味を生かしたものを。特に加工品は、材料がシンプルなものを選ぶようにする。

☆食べ物は、作る人と食べる人の気持ちを通い合わせるもの。家族で食卓を囲むことが心と体を作る。

☆商品を作るときにコストが一番高いのは原料。その次に人件費。安く大量に作るために、添加物や色々なものをいれて増量させる。

☆添加物を使うことで、誰でも（経験の浅い人でも）均一で同じ味の製品を作ることが出来る。

☆『安い』には理由がある。添加物だけでなく、パッケージなど見た目を良くすることで消費者の目をごまかす技もある。まずはきちんと表示を確認することが大切。



高橋徳治商店 高橋英雄社長

布おむつから始まる!

9/30 布おむつ談議報告



9月30日日立システムズホールで布おむつ談議を25名の参加で開催しました。「談議」とは自由に意見を述べ合うという意味ですが、この日は布おむつの使い方、洗い方をはじめ、石けんのこと、布ナプ、離乳食、食べ物のこと、そして遺伝子組み換え作物のことなど話題は尽きませんでした。



今から6年前。長男を妊娠中だった私は、おむつは紙か布かで迷っていました。そんな時、ふと目にした「布おむつ談議」のチラシ。参加して、使用するのは大変かと思っていた不安も解消され、それ以来、布おむつ派に。現在、三人目の息子にも使っています。

石けん委員になって3年目の今年、また参加したいと思っていた「布おむつ談議」を、久しぶりに開催することができました。参加された方からは周りで布おむつを使って

いる人がなく、布おむつの使い方や洗い方などが聞けて良かったという感想をいただきました。また、エネシフ委員さんに鍋布団による離乳食作りも教えていただき、とても勉強になりました。定期的に行なってほしいという声もあり、この会を開催できたことをうれしく思います。今回、「布おむつ談議」開催に際し、組合員の皆様からたくさんの布おむつを提供していただき本当にありがとうございました。

石けん環境委員会 原子良恵



みんなで🍴パチパーティー🍴



お申込みは
TEL 0120-58-1694 へ

あいコープみやぎでは「パチパーティー」を開催することになりました。パチパーティーは組合員さんのお宅に、あいコープの食材を持ち込んで開催します。組合員さんとゲストさん参加の「美味しく」「楽しく」「手軽な」ランチパーティーです。わたくし橋本が愛情をこめて調理しますのでぜひあいコープみやぎの食材のおいしさをこの機会に体験してみてください。

ご案内のチラシを配布したところ早速お申し込みを頂き、第一回目の開催が決まりました。これからも申込みチラシが入りましたら、お気軽にお申込みください。皆さんの参加お待ちしております。よろしく願います。



こんにちは!!
あいコープみやぎ事業部職員の橋本真由美です。日頃より大変お世話になりありがとうございます。

Wa!わあ祭り 2015

10月25日、秋風が強く吹く中、松千代キッズのよさこい演舞で2015Wa!わあ祭りの幕が開きました。会場は熱気と活気にあふれ、60を超える生産者ブースに、2000人を超える方々が来場しました。



過去最大の入場者数



木口裕美実行委員長

「あいごはんを広めるお祭り」として、新あいぶらんの認定式を行い、会場内では、様々なあいコープの食材の試食ができ、生産者との交流も深めることができました。 「子どもと楽しめるお祭り」を方針に取り組んだ今年のお祭りでの企画、子ども一日店長では、生産者とともに子供たちが一生懸命にお手伝いする姿が印象的でした。また来年度はどのようなお祭りに進化するのでしょうか。楽しみにしてください！

ステージイベント



一日子ども店長大活躍！！

全34ブースで子ども達が商品紹介のお手伝い。お仕事が終わった後は、「お給料」を受け取りました。



皮なしウィンナープロジェクトに約500名が参加

用意された2種類のウィンナーを参加者が判定。野菜のうまみを効かせた方が人気でした。



会場で35名が加入

来場した組合員の紹介で多くの方にご加入いただきました。



活動紹介も充実

あいぶらんどを使った和洋汁物



節電アクションや10/25 県議選投票を呼びかけ



被災各地の手作りの品を販売



石けんやアロマの体験イベントや遺伝子組み換え作物問題の発信



わだいのたねまき



5 あいあい vol.117

ネオニコ・除草剤・土壌消毒剤不使用
新基準達成へのチャレンジ応援!



支援金随時受付中!

注用紙に申込番号と口数を記入してご提出ください。

申込番号 **000860**
1口 500円

申込番号 **22245**
1口 500ポイント

10/15 機能性食品表示学習

フォレスト仙台にて、阿南久理事長(一般社団法人消費者市民社会をつくる会)を講師に招き「買う? 買わない? 機能性表示食品」感われないために知っておくことをテーマに講演会が行われました。2015年4月1日施行の新しい食品表示法は、製品情報がすべて開示されるような制度ではあるが、重要なことは消費者が様々な情報に翻弄されことなく、「選択する力・選択しない力」を育て、その力を発揮することだと感じました。

GMって何か問題?

アメリカ食品医薬品局(FDA)は11月19日、遺伝子操作により、通常より2倍ほど速く育つようにした遺伝子組み換え鮭の販売を認めることを発表した。アトランティックサーモンに二種類の魚の遺伝子を組み込み成長ホルモンを出し続けるようにしたもの。これは初めての遺伝子組み換え動物食品の承認となる。しかし販売に際しては遺伝子組み換え動物であることを明記する必要はないという。

表示がないまま食べてしまう可能性が!!?

遺伝子組み換えサーモンの販売がアメリカで認められる

早ければ約2年後に米国内で市販される見通しと報いられている。鮭の消費が多く、その多くを輸入に頼る日本でも表示がされないまま流通する可能性がある。遺伝子組み換え鮭の販売にはアメリカ国内でも批判が根強くあり、米大手スーパーの一部が販売しない方針を表明したほか、環境保護団体からは承認の取り消しを求める訴訟や、表示を義務化する法を求める動きがでている。



11/15
&
11/17

『日本と原発』『東京原発』

上映会 報告

11月15日(日)17日(火)の二日間にわたり、脱原発エネシフ委員会では「日本と原発」「東京原発」の上映会を開催いたしました。これまでの活動の中で寄せられた意見を踏まえて、午前中は託児つきで、週末と平日の開催を試みました。計4回の上映にのべ250名の方が参加されました。

問題で、これからどうしていくべきかという所までとても分かりやすくまとめられています。原発事故のことだけでなく社会の構造を考え、暮らし方や生き方を見直すきっかけともなる映画だと思いました。

2004年に制作された「東京原発」(山川元監督)は、原発の問題点をコメディタッチで描いています。震災後の日本の状況を示唆するような鋭い内容です(ビデオレンタルもされています)。

上映後に書いてもらった参加者からのメッセージ一つ一つは心に響くものでした。

12月14日は、鎌仲ひとみ監督のトーク付きで「小さき声のカノン」を午前午後の二回上映いたします(午前中は託児があります)。多くのご参加をお待ちしております。今、一人一人が自ら気づき、行動することが問われています。

様々な化学物質で作られている使い捨てナプキンが生理中のかゆみやかぶれ、子宮内膜症の原因のひとつと言われています。作



映画を観たあとのメッセージ

10/19
(月)
&
11/9
(月)
報告

太白地区
布ナプ連続企画

布ナプってしあわせ…♪



業しながらの会話の中で、「どうして布ナプなのか」という事を改めて再認識する事が出来ました。

一人で布ナプを作るより、誰かとお話しながら楽しく布ナプを縫いたいという地区委員さんからの声からこの二カ月連続企画が開催されました。

2回目は出来上がった布ナプを枇杷染めました。布ナプを枇杷の染料液に入れて沸騰させ、煮染めしたナプキンをミョウバン液で媒染します。仕上げにもう一度染料液で煮て出来上がり。枇杷のエキスを触った手はしっとりすべすべ!染め上がったナプキンは枇杷の良い香りでも癒されました。

これからもまた企画を開催して沢山の方に布ナプを知って頂ければ嬉しいです。

太白地区委員長

田上由紀恵

理事会議事録抄

2015年 11月6日(金)

▼Wa!わあ祭り2015の振り返りを行なった。▼2020年ビジョン委員会、PB皮なしウインナー開発プロジェクト及びGMOフリーゾーン全国交流集実行委員会からの報告・提案事項を承認した。▼シャボン玉月間キャッチコピー&ポスター募集の件を承認した。▼2月組合員交流会開催企画書を承認した。▼布おむつ談議2016開催企画書を承認した。▼秋のフォーラム当日資料の確認を行なった。

講習会メモ

◆使い捨てナプキンは薄くて携帯しやすく便利ですが、目に見えない害が体や環境で積み重なると言われています。

◆布ナプを使っていると冷えが軽減でき、自分の体と向き合うことも出来ます。沢山の人がふわふわネル生地の布ナプで、毎月の生理が快適になってくださる事を願っています。

組織概要

(2015年10月分)

【組合員数】	14,901名
【供給高】	178,312千円
【一人実利用高】	5,075円/週
【出資金】	1,083,980千円



●去年、節電アクションに参加したら、冬の電気代がいつもの三分の一になった♪

泉A 後藤さん

10/29
(木)
報告

共生会幹事会と
ビジョン委員会の意見交換会

あいコープみやぎの5年後の 「ありたい姿」を考える



それぞれの立場から思いがあふれる

10月29日、日の出町センターで生産者・組合員・職員が参加し2020年ビジョン策定に向けた意見交換会が行われました。グループワークでそれぞれの立場から出された共通の願いは、あいコープの姿勢がブレずに継続していくことでした。仲間作り、利用を増やす、知名度を上げたい、社会に貢献したい等の意見が出され、あいコープの食材を使ったあいコープレストランや、あいコープ保育園など具体的な新しい夢を語る場面もあり、希望の言葉が溢れ議論が盛り上がった2時間でした。



ブレずに夢を追っていききたい

また、組合員に呼びかけた2020年ビジョンアンケートは三百通余りが集まりました。組合員のあいコープに寄せる期待が大きい事が現れています。なぐてはならない「あいコープ」、入つていて良かった「あいコープ」という思いが伝わってきます。特にTTPに対する懸念や生産者を守りたい気持ち、安売法案が強行採決されたことへの怒り等、社会の大きなうねりを敏感に感じ平和への願いを強く感じたアンケート結果でした。皆さんのあいコープに向けた思いを2020年ビジョンにしっかり盛り込んでいきたいと思えます。

あつという間に12月。明後日あたりにはもうお正月になっているんじゃないかと思うほど、月日が経つのが早くなっています。年のせい？

クリスマスには皆さんチキンを召し上がるのでしょうか。我が家ももれなく毎年米沢郷の丸鶏を焼いています。一方、12月は鶏の大量屠殺の月、なんて表現をする人も。鶏たちに恥ずかしくないように、価値あるあいコープの鶏肉を丁寧に調理して、ありがたく頂くこうと思えます。皆さんも、是非。

広報担当理事 高野 恵美子

編集後記

10/25 Wa! わあ祭り ご加入ありがとうございました!



開場間もなく、お1人目のゲストさんが加入されたのを皮切りに、昼頃にはスタッフ総動員しての対応となり、加入手続きにお待ちいただくほどの盛り上がりでした。夢中になりすぎて、お昼を食べるのを忘れるほど。(笑)皆さんからは、「気にはなつてたけど...お祭りに来て色々食べてみて、今日加入することにしました。」「お祭りは、あいコープを知るきっかけになりますね」などの声があり、当日は去年を上回る35名の方にご加入頂きました。ご加入頂いた皆さん、お友だちを連れてきて下さった組合員さん、本当にありがとうございました。今後あいコープのファンになって頂けるように、美味しい商品をご案内していきたいと思えます。 事業部 庄子裕章

●機関紙あいあいあいのご意見・ご感想

組合員番号、氏名、電話番号をお書きの上、
配送もしくはFAX (022-284-6973) にて、
あいコープみやぎ理事会へ広報宛にお送り下さい。

組合員の皆さんの『つばやき』も大募集中!

ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「よつてがいん」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。

個人で利用できるサービスもあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

組合員が利用できる電話相談

- 12/8 年金相談**
相談員：社会保険労務士 兵藤政行氏
相談時間：13:30～15:30
- 12/8 法律相談**
相談員：弁護士 松澤陽明氏
相談時間：13:30～15:30
- 12/15 ぐらしの相談**
相談員：消費生活専門相談員 加賀淳子氏
相談時間：10:30～12:30
- 12/15 子ども相談**
相談員：宮城教育大学教授 菅井裕行氏
相談時間：10:00～12:00
- 12/22 思春期相談**
相談員：臨床心理士・スクールカウンセラー 北條貴子氏
相談時間：9:30～11:30

電話相談のお申込みは
ジョイケア事務局へ

受付専用
022
284-7277

平日 9:00～17:00

◎各相談窓口前週の金曜日までに予約して下さい。随時受け付け可能です。

◎予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話します。

ジョイケア利用状況 (2015年9月分)

ささえあい(保障)	0件
たすけあい(ケア)	46件
集団託児	15件
慶弔・出産	17件
電話相談窓口	2件
計	80件

組合員が個人で 利用できるサービス

- | | |
|---------|---------|
| 1 たすけあい | 4 ささえあい |
| 2 集団託児 | 5 慶弔 |
| 3 電話相談 | |



● 小女子揚げが食べたい...復活しないかな。

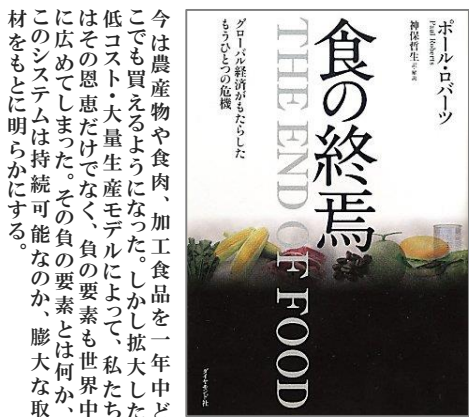
太白区・CMさん

シリーズ ヨーコさんの食の本棚⑨

生協あいコープみやぎ顧問 吉武洋子

食の終焉

ポール・ロバーツ著 神保哲生 訳
2012年ダイヤモンド社刊 2800円+税



ポール・ロバーツ
著 神保哲生 訳
「グローバル経済がもたらしたもうひとつの危機」

今は農産物や食肉、加工食品を一年中どこでも買えるようになった。しかし拡大した低コスト・大量生産モデルによって、私たちはその恩恵だけでなく、負の要素も世界中に広めてしまった。その負の要素とは何か、このシステムは持続可能なのか、膨大な取材をもとに明らかにする。

あいコープは
見た目や品質をごまかす不要な
添加物は使用しません。



顔の見える産直豚肉(じもとん)を原材料にした発色剤不使用の安全安心なハムをどうぞ

こんな本もどうぞ！

『雑食動物のジレンマ 上下』
マイケル・ポーラン著 ラッセル秀子 訳
2009年東洋経済新報社刊 各1800円+税

この秋のフォーラムは、食品添加物がテーマとなったようですね。あいコープは食の安全安心を主張し続けている生協ですから、食品添加物が問題となるのは当然ですね。今回の本は、食品添加物を安全安心という面からだけでなく、私たち消費者が大手スーパーや食品会社はどう操られているかという面から論じています。

食品添加物の多用は、すべて利便性、それもスーパーや食品会社にとっての利便性のためにあり、綿密に計算されたCMや品揃えによって消費者は否応なしに添加物だらけの食品を買わされているのであり、簡便利安価を求める消費行動が改まらない限り、その使用はなくなるらない、と著者は言います。

メーカーは化学の力でありとあらゆる味や香りを合成

し、材料を水増し、それで消費者に好まれるオレンジジュース、牛乳、肉より美味しく感じるコンピーフ、原材料の2倍になるハムが作られる等々。また食品添加物は製造コストを削減し、利益を増やすので食品メーカーは莫大なCM費用のもとを十分取れる。さらに安全安心無添加食品を求める消費者も大歓迎、オーガニックの名のもとに高価格商品が売れるから、あのドールでさえオーガニック製品を大量生産しているのだとも。

生産者と消費者がお互いに顔が見える信頼関係の中、私たち組合員が、食品の生産流通、農畜産物のあり方に関心を払い、生産者が再生産可能な価格で購入することが食品添加物を減らすことに繋がります。あいコープで食べましよう！

Calendar

今後のイベント

12/14(月) 鎌仲ひとみ監督トークライブ
『小さき声のカノン』上映会

場所/ せんだいメディアテーク スタジオシアター
時間/ 午前 10時～ 午後 14時～
入場料/ 組合員 700円 一般 1000円

1/26(火) 手島奈緒 講演会
NON-GMO でダイエット！

場所/ 仙台 日立システムズホール
時間/ 10時～12時

1/31(日) 三好春樹 講演会

場所/ 仙台福祉プラザ
時間/ 10時～16時半

第11回 遺伝子組み換え作物は
植えません！ 食べません！

GMOフリーゾーン 全国交流集会 in みやぎ

とき：2016年3月5～6日 場所：メルパルク仙台

～持続可能な豊かな地域を目指して～

◆『みんなであいごはん』各地区で開催予定！◆

12月 泉A地区
12月8日(火)
桂市民センター

1月 青葉A地区

3月 太白地区



生産者と一緒に
あいごはんを作って味わいます

地区委員さん募集中！ 一定例会見学も受付中～

地区委員会では
美味しい試食を食べながら
おしゃべりする『オープン定例会』を
実施している会場があります。
お住まいの地区以外での
開催イベントでも、
参加できる場合もあります。
お気軽にお問合せください。



お問い合わせ先
☎ 0120-255-044
Fax 0120-849-324
Email soshiki@mamma.coop
(担当：組織運営室長 豊嶋)